

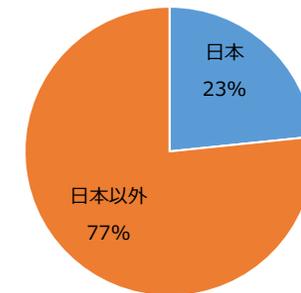
- TCFDに対して**世界で1,073機関、日本で248機関が賛同**（令和2年3月2日時点）。
また、**日本では非金融セクターの賛同数が多い。**

TCFD：G20からの要請を受け、金融安定理事会（FSB）が2015年に設置した民間主導の「気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD；Task Force on Climate-related Financial Disclosures）」。2017年6月に提言をまとめた最終報告書を公表し、気候変動に関する任意の情報開示のフレームワークを示している。

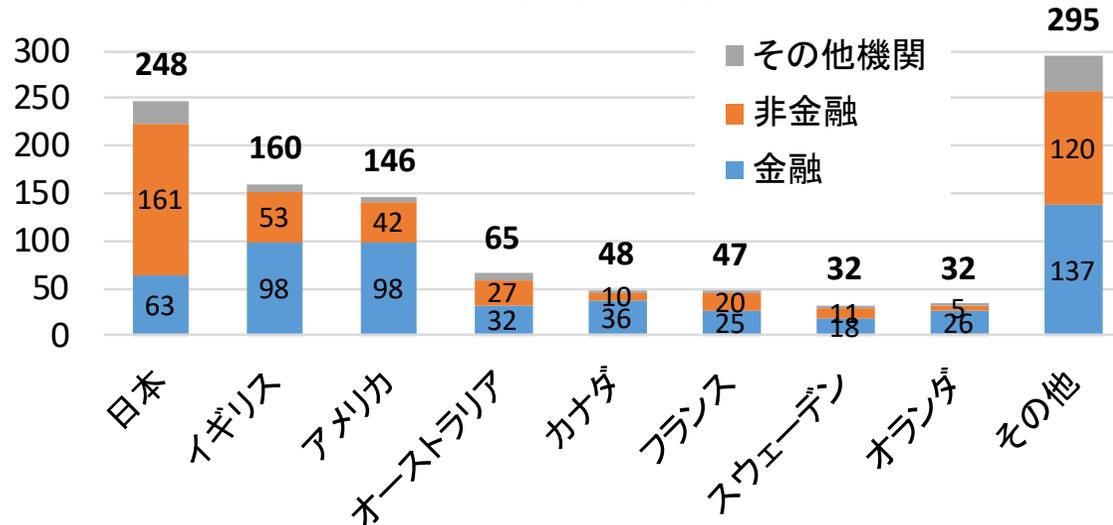
【TCFDへの賛同】

- ◆ 日本では248機関が賛同しており、**世界第1位の賛同数。世界の賛同機関の約2割**を占める。
- ◆ また、**日本は非金融セクターの賛同数も多く、世界の非金融セクター全体の3分の1**を占める。

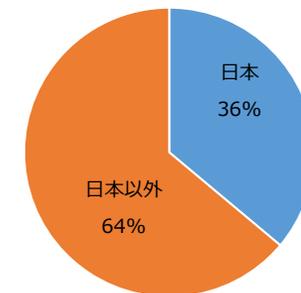
世界の賛同機関全体における日本の割合



TCFD賛同機関数
(2020年3月2日時点)

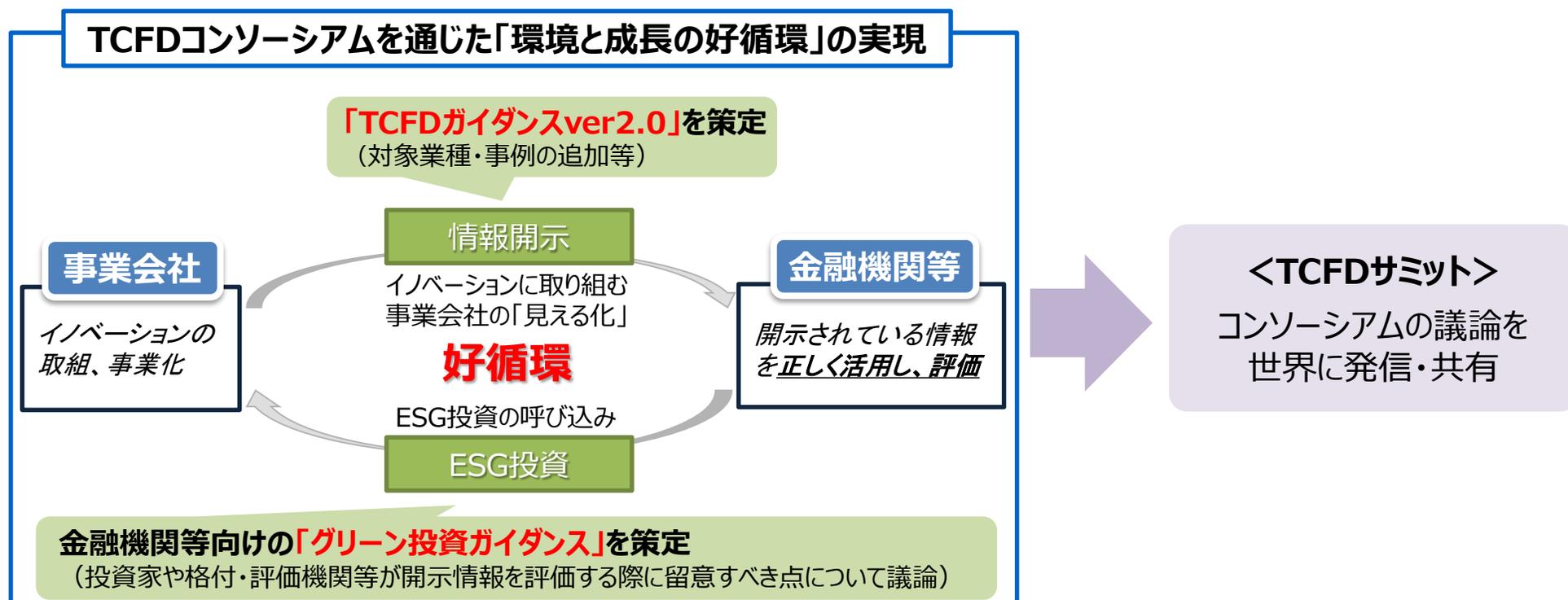


世界の賛同機関（非金融）における日本の割合



TCFDコンソーシアムの概要

- パリ協定の目標達成のためには、企業のイノベーションの取組内容の積極的開示を進め、開示内容を金融機関等が適切に評価し、世界で膨らむESG資金が投入される、**イノベーションとグリーンファイナンスの好循環メカニズム**の構築が必要。
- そのため、世界最多のTCFD賛同機関による「**TCFDコンソーシアム**」における産業界と金融界の対話を通じて、
 - (事業会社向け) 「**TCFDガイダンス**」の**ver2.0**を策定
 - (金融機関等向け) 事業会社の開示情報を評価する際のポイントを解説した「**グリーン投資ガイダンス**」を策定
- **2019年10月8日**に世界の事業会社と金融機関が集まる場として「**TCFDサミット**」を開催、上記の取り組みを**世界に発信・共有**した。



TCFDコンソーシアムの今後の運営スケジュール

- TCFDガイダンス2.0は5月を目処に中間報告と意見募集を経て、6月末を目処に企画委員会にて決議の予定。業種別ガイダンス（現状4業種を想定）は、各業界等で検討、事務局にて取りまとめを実施。
- 事業会社と投資家の対話、意見交換の場として、ラウンドテーブルの継続開催を予定。開催手続きの効率化や投資家・業界団体等で自立的な開催を推奨していくことも検討。

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
企画委員会 情報開示WG	企画委員会 情報開示WG		企画委員会 総会・情報開示WG		企画委員会	TCFDガイダンス2.0 の決議		
TCFDガイダンス2.0の 策定		TCFDガイダンス2.0の策定・取りまとめ				英訳		
		業種別ガイダンスの検討（各業界団体等）		TCFDガイダンス2.0の 中間報告・意見募集				
		国内外のTCFD開示事例の収集						
		各種ガイダンス等のTCFD動向調査（継続）						
ラウンドテーブル		定期的な開催を予定（2ヶ月に1回程度）						
		投資家・業界団体等での自立的開催も検討						
その他		TCFDに関する会員向け情報発信						
		「グリーン投資ガイダンス」、「TCFDガイダンス2.0」の普及活動						
主要イベント						東京オリンピック・パラリンピック		TCFDサミット PRI in Person

(参考) TCFDサミット等

- 世界初となる「TCFDサミット」を東京で開催し、世界の産業・金融界のリーダーが集結し、TCFDの方向性を議論。官邸では、有識者を集め「グリーンイノベーション・サミット」を開催、各層での進捗を確認、コミットメントを求め、安倍総理のリーダーシップを世界へ発信。

TCFDサミット

1. 日程・場所

日時：2019年10月8日（火）13:00-18:00

場所：ザ・キャピトルホテル東急

主催：経済産業省 共催：WBCSD(※)、TCFDコンソーシアム

参加人数：約350名

※World Business Council for Sustainable Development: 持続可能な開発のための世界経済人会議

2. テーマ

エンゲージメントの重要性、オポチュニティ評価の重要性、アジアにおける開示の課題と今後の展望

3. 主な出席者

- 経済産業大臣
- 伊藤 邦雄 TCFDコンソーシアム会長、一橋大学大学院特任教授
- 産業界：ピーター・バック WBCSD 会長兼CEO
進藤 孝生 日本製鉄 代表取締役会長、経団連 副会長
十倉 雅和 住友化学 代表取締役会長
チャールズ・O・ホリデイ ロイヤル・ダッチ・シェル会長 等
- 金融界：水野 弘道 PRI理事、GPIF理事兼CIO
マーク・カーニー イングランド銀行総裁、前FSB議長
メアリー・L・シャピロ TCFD事務局特別アドバイザー(元SEC議長) 等
- 格付機関等：ヘア・ペティット MSCI 社長
ワカス・サマド FTSE Russell CEO
マーティン・スカンケ PRI議長 等

グリーンイノベーション・サミット

1. 日程・場所

日時：2019年10月9日（水）

17:44-18:02

場所：総理官邸 2F小ホール

2. プログラム

1. 提言書の手交、記念撮影
2. バッカー代表挨拶、総理挨拶
3. 各会合代表者より発言
4. 総理締めくくり挨拶

3. 主な出席者

- 日本政府：安倍総理、菅原経済産業大臣、萩生田文部科学大臣、小泉環境大臣、西村官房副長官、尾身外務省政務官
- 産業界：ピーター・バック WBCSD 会長兼CEO
- 金融界：水野 弘道 PRI理事、GPIF理事兼CIO
マーク・カーニー イングランド銀行総裁、前FSB議長
メアリー・L・シャピロ TCFD事務局特別アドバイザー
ユ・ベン・メン CalPERS 最高投資責任者 等
- 研究機関等：イアン・スチュアート カナダ国立研究機関 理事長
田中 伸男 ICEF運営委員長
ハマン・リザ インドネシア技術評価応用庁長 等



TCFDサミット2019では、参加者の国内移動及び会場でのエネルギー使用に伴うCO2排出量（合計約2トン）相当を、J-クレジット制度を活用してオフセットしました。